

# 防災人材交流シンポジウム関連独自事業

## 防災啓発事業 企画（案）

【2021年8月2日現在案】

### 【趣旨】

①東日本大震災では、津波ハザードマップに示されたエリアの人で、避難してない人が多かった。名古屋（事前避難対象地域）も同じことが起きないか心配。南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時に事前避難が必要な地域（事前避難対象地域）として、港区の一部が指定されました。今後タウンミーティングを通して、住民に説明がなされるとのことですが、地震と同時に起こる可能性がある建物の倒壊、液状化、延焼火災、そして津波の襲来と、港区住民の不安は尽きません。これらの不安に打ち勝つには、地震に対する認識を深め、適切な防災対策を進める以外にありません。

つきましては、名古屋大学減災連携研究センターの福和教授をお迎えし、現地の視察と地域住民に対して勉強会の開催を計画しております。

【主催】 名古屋みなと災害ボランティアネットワーク

【協力】 名古屋大学減災連携研究センター、名古屋市防災危機管理局

港区役所、港区神宮寺学区

### 【啓発事業の概要】

1. 対象地域 港区神宮寺学区
2. 大きな被害が想定される現場の視察
3. 南海トラフ地震臨時情報等に対する勉強会（講師：福和名古屋大学教授）
4. 家具の転倒防止対策講習会の実施（学区内住民を対象）

※その他（防災人材交流シンポジウム実行委員会で議論されている内容）

- シンポジウムの参加者は、愛知県内の行政、大学、災害ボランティア団体です。
- 本年11月14日のシンポジウム開催に向けて、準備を進める中で、事前避難対象地域についての、議論がされています。
- 東日本大震災では、津波ハザードマップに示されたエリアの人で、避難しなかった人が多かったことが報告されている。名古屋（事前避難対象地域）も同じことが起きないかが心配。
- 被災を経験された東北の方に港区の事前避難対象地域を事前に見てもらい、議論ができないか？など
- 本件は、学区の住民の皆さんの了解を得られることが前提で、進める予定です。

文責：名古屋みなと災害ボランティアネットワーク  
代表 高崎賢一